

「国語探究」シラバス

学科	普通科	学年	3 年	類型	I	組	1 組	単位数	2
使用教科書	高校生のための愛媛の文学								
副教材等	カラー版新国語便覧（第一学習社）								

1 学習の到達目標

- ① 愛媛に関係する様々な作品を味わい、作品を多面的・多角的な視点から読み深めることにより、地域と文芸作品に対する興味・関心を高める。
- ② 作品を通して地域および日本の文化に触れ、言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、愛媛の文学に対する理解を深めようとしている。	(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1) グループワーク等での対話への取組 (2) 発問に対する応答	
言語活動の観察	(2) 言語活動への参加状況 (4) 学びの関連付け、活用への取組	
課題などの提出状況	(5) リフレクションシートの内容 (6) 長期休業中の課題 (7) 日々の課題	
発表・報告	(8) ポートフォリオ (9) プレゼンテーション	
ペーパーテスト	(10) 定期テスト (11) 校内模試 (12) 小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	古典文学		(7)
	地名の起こり	・説話文学等に表れる地名の由来等から地域について考える。	(9)
	伊予の湯をめぐって	・万葉集や古事記に掲載された和歌と地域との関連を読み取る。	(8)
	戦乱の世に	・軍記物語独特の表現を読み、時代背景等を学ぶ。	(7)(8)
	近・現代の韻文 俳句 短歌 詩	・韻文の表現を味わい、鑑賞文を書けるようにする。	
二 学 期	古典文学		(7)(9)
	各地に残る不思議 人生がかわるとき	・様々な物語を読み、当時の人々が考えたことを理解する。 ・人々の生き方をもとに、近世の文章の読み方を学ぶ。	(7)(8)
	近・現代の散文		(8)
	病床六尺	・正岡子規の文章をもとに、子規の行った俳句、短歌の革新について学ぶ。	(9)
	坂の上の雲(前半)	・近・現代の文学をもとに、作品を味わいながら、歴史的背景や、文学作品に表れた地域の姿についても学ぶ。	
三 学 期	近・現代の散文		(7)
	坂の上の雲(後半) 忘れえぬ日々	・近・現代の文学をもとに、作品を味わいながら、歴史的背景や、文学作品に表れた地域の姿についても学ぶ。	(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。